

長崎県埋蔵文化財センター調査報告書 第33集

長崎県埋蔵文化財調査年報 27

[平成30年度調査分]

2019

長崎県教育委員会

はじめに

長崎県には先人たちの残した 3,800 か所を超える遺跡（埋蔵文化財）があります。こうした埋蔵文化財は地域の歴史を物語り、地域づくりや人づくりに活用できる国民共有の財産です。私たちはこれら先人から受け継いだ貴重な文化財を適切に保存・活用し、後世の人々に伝えていく責務があります。

長崎県教育委員会では、国・県の公共事業に伴う開発が行われる際には事前に予備調査及び開発部局との協議を行って埋蔵文化財の保護を図り、その結果やむを得ず保護できない場合においては記録保存のための発掘調査を実施しています。平成 30 年度は松浦市における西九州自動車道松浦佐々道路建設に伴う発掘調査や、都市計画道路建設に伴う発掘調査などを行いました。また、「原の辻遺跡」の全容解明のための範囲確認調査を継続的に実施しています。

本書は、平成 30 年度に長崎県教育委員会が行った全ての発掘調査の概要、長崎県埋蔵文化財センターが行った調査研究や遺物の保存処理、展示、普及啓発などの事業概要について掲載しております。本書が県民の皆様の地域の歴史や文化への理解の一助になれば幸いです。

令和元年 6 月

長崎県教育委員会教育長

池 松 誠 二

例 言

- 1 本書は長崎県における埋蔵文化財保護行政の現状と長崎県教育委員会が平成30年度に実施した発掘調査の概要を収録したものである。
- 2 調査遺跡名の【 】内は長崎県教育委員会の実施した遺跡調査番号である。
- 3 調査概要の遺跡位置図は長崎県教育庁学芸文化課のウェブコンテンツ『長崎県遺跡地図』を使用している。
- 4 IVについては各遺跡の調査担当者と調査概要の執筆者を文末に記している。
- 5 本書の編集は長崎県埋蔵文化財センターが行った。

本 文 目 次

I. 長崎県の埋蔵文化財保護行政の現状	1
1. 県が実施した発掘調査の現状	1
2. 市町が実施した発掘調査の現状	2
II. 本県の埋蔵文化財保存活用事業	6
1. 長崎県市町文化財保護行政主管課長会議・担当国会議	6
2. 開発部局・文化財保護部局担当者文化財基礎研修	6
3. 埋蔵文化財担当者専門技術研修	7
III. 長崎県埋蔵文化財センターの事業	8
1. 調査研究事業	8
2. 保存処理事業	9
3. 教育普及事業	10
(1) オープン収蔵展示	10
(2) 情報誌	11
(3) ホームページおよびFacebookの公開更新	11
(4) 体験学習	11
(5) バックヤードツアー	12
(6) 資料貸出・閲覧・掲載許可	12
(7) 長崎県立壱岐高等学校「東アジア歴史・中国語コース」支援	12
(8) 学校教育支援「埋文MAIBUN学びのサポート」	13
4. 東アジア考古学研究事業	14
(1) 東アジア国際シンポジウムの開催	14
(2) 東アジア諸国の研究機関との連携	15

(3) 長崎県埋蔵文化財センター研究紀要第9号の刊行	16
IV. 平成30年度長崎県教育委員会による埋蔵文化財発掘調査の概要	17
1. 川端遺跡(本調査)【201801】	17
2. 太田遺跡(本調査)【201802】	18
3. 畑中遺跡(範囲確認)【201803】	19
4. 寄神貝塚(範囲確認)【201804】	20
5. 原の辻遺跡(範囲確認)【201805】	21
6. 長貫B遺跡(隣接地)・寺中A遺跡・原口B遺跡・津吹遺跡(隣接地)【201806～201809】	22

(報告書抄録)

I. 長崎県の埋蔵文化財保護行政の現状

1. 県が実施した発掘調査の現状

平成 22 年度から実施してきた九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）建設工事に伴う緊急発掘調査事業については、平成 29 年度に調査は完了し、平成 31 年度までに作成する調査報告書の刊行をもって事業は終了する。

新幹線車両基地の東側の位置に計画された都市計画道路建設工事においても県による発掘調査が実施されてきた。平成 30 年度は大村市川端遺跡（2 区）において、A・B に分けられた 2 地区で約 1,500 m²の調査が実施された。主な遺構としては、A 区で石棺墓や土坑、B 区で竪穴建物跡 1 軒や多数のピットなどが確認されている。A 区で検出された石棺墓は副葬品の出土がほとんど無く、正確な時期は不明であるが、石棺の形態や赤色顔料の使い方から、弥生時代後期から古墳時代初頭のものと考えられている。また、B 区の竪穴建物跡からは弥生土器や古式土師器などが出土しており、その時期から、弥生時代後期から古墳時代前期の遺構と考えられる。

西九州自動車道（松浦佐々間）建設工事に関しては、平成 26 年度に実施した分布調査の結果で 2 遺跡を含む 13 地点を調査対象範囲としており、平成 30 年度は前年度の試掘調査で新たな遺跡として確認された太田遺跡の本調査が実施された。調査面積は約 430 m²で、小規模の調査でありながら弥生時代から古墳時代にかけての遺物が多数出土し、7 か所の焼土面や土坑などが確認された。これまで遺跡の存在が確認されなかった松浦市の山間部で生活の痕跡が確認されたことは、今後の遺跡の分布を見極める上で重要な成果となった。

島原道路については、出平有明バイパス建設に伴い試掘・範囲確認調査を実施し、2 遺跡（寺中 A 遺跡・津吹遺跡）の周辺部で遺物包含層が確認され、遺跡の範囲が拡大することが確認された。

上記の内容を含め、県が平成 30 年度に実施した国・県の公共事業に伴う調査は、以下のとおりである。

【国事業】

- ・西九州自動車道（佐々～松浦間）建設工事に伴う太田遺跡緊急発掘調査（松浦市）



川端遺跡 2 区（都市計画道）石棺墓検出状況



太田遺跡（西九州道）調査区遠景

【県事業】

- ・都市計画道路池田沖田線建設工事に伴う川端遺跡2区緊急発掘調査（大村市）
- ・島原道路出平有明バイパス建設工事に伴う試掘・範囲確認調査（島原市）
- ・国道251号線交通安全施設等整備工事に伴う畑中遺跡範囲確認調査（島原市）

また、保存目的調査としては、平成14年度から実施している壱岐市原の辻遺跡の範囲確認調査を長崎県埋蔵文化財センターが実施している。

2. 市町が実施した発掘調査の現状

平成30年度に管内市町が実施した開発に伴う発掘調査は、長崎市や佐世保市等市街地では、個人住宅及び民間開発、大村市や諫早市の県央地域においては新幹線事業と関連した宅地開発、島原半島地域においては大規模な圃場整備事業に起因するものが多い。また、近年は自然エネルギー利用の気運の高まりを受け、風力発電及び太陽光発電施設設置に伴う確認調査も県北地域や五島列島で増加傾向にある。

主な調査事例として、長崎市においては、昨年度から継続して市役所建設に伴う魚の町遺跡の調査が行われており、近世長崎の町並みや町人の生活の一端をうかがい知ることができた。佐世保市においては、本調査に至らないまでも個人住宅や上下水道整備等の各種インフラ整備に伴う範囲確認調査や工事立会の対応があった。大村市では、黒丸遺跡や富の原遺跡等の平野部を中心に宅地開発や新幹線関連事業に伴う各種開発が増加している。市道整備事業に伴う竹松遺跡の発掘調査では、平安時代末から鎌倉時代中頃の大型建物3棟が確認された。確認された建物のうち2棟は四面庇建物で、床面積はいずれも100㎡を越える。四面庇建物はこれまでに県内で2例確認されているが、いずれも竹松遺跡におけるものであり、当時の郡川周辺地域の歴史を考える上で貴重な事例である。島原半島地域においては、大規模な圃場整備事業が継続して実施されており、各市において対応に追われている。雲仙市の圃場整備事業に伴い行われた火箱遺跡の調査では、弥生時代の環濠と考えられる溝をはじめ、住居跡や土坑墓が確認された。土坑墓内部からは、被葬者の副葬品として鉄鏃やガラス小玉が出土しており、ガラス小玉は雲仙市で初の出土となる。

保存目的調査では、壱岐市カラカミ遺跡で、一昨年度に確認された焼土坑と炉跡の追加調査を行っており、分析の結果、ベンガラを焼成した炉跡であることが明らかになった。この遺跡は、弥生時代後期段階に丹塗土器の出土量が多いことから、集落における土器製作の様相が明らかにされつつあり、漁労活動や鉄生産とあわせて遺跡の性格を考える上でも興味深い。佐世保市宮の本遺跡では、保存目的調査として箱式石棺墓2基の内部の調査を実施し、良好な状態の埋葬人骨が出土している。世界遺産に登録された「長崎・天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産の一つである南島原市原城跡では二ノ丸の調査が実施された。調査では、落ち込みや土坑が確認された他、陶磁器類に混じって島原・天草一揆の戦闘の激しさを物語る銃弾や砲弾等も出土しており、原城跡の全貌解明に向けて今後の調査の進展が期待される。

平成 30 年度 長崎県における発掘調査の履歴 (1)

遺跡名	遺跡所在地	調査主体	調査開始日	調査終了日	調査原因	調査種別	調査面積 (㎡)	備考
川端遺跡	大村市	県(埋文)	2018/5/21	2018/10/10	道路	本調査	1,448.0	KBT201801
太田遺跡	松浦市	県(埋文)	2018/7/4	2018/9/4	道路	本調査	340.0	OTA201802
畑中遺跡	島原市	県(埋文)	2018/12/3	2018/12/7	道路	範確	10.0	HTN201803
原の辻遺跡	老岐市	県(埋文)	2018/11/1	2018/12/28	保存目的の範囲内容確認調査	範確	500.0	HRN201804
寄神貝塚	五島市	五島市	2018/7/23	2018/7/24	その他開発(小型風力発電設備)	範囲	15.0	YOR201805 支援: 県埋セ
長貫B遺跡(隣接地)	島原市	県(埋文)	2019/3/4	2019/3/15	道路	範囲	25.9	NNB201806
寺中A遺跡	島原市	県(埋文)	2019/3/4	2019/3/15	道路	範囲	43.7	JCA201807
原口B遺跡	島原市	県(埋文)	2019/3/4	2019/3/15	道路	範囲	18.2	HGB201808
津吹遺跡(隣接地)	島原市	県(埋文)	2019/3/4	2019/3/15	道路	範囲	81.4	TBK201809
魚の町遺跡	長崎市	長崎市	2018/2/20	2019/1/31	その他建物(新市庁舎建設)	本調査	1,500.0	
唐人屋敷跡	長崎市	長崎市	2018/5/29	2018/6/8	道路	範確	11.0	
小菅修船場跡	長崎市	長崎市	2018/11/15	2019/1/18	保存目的の範囲内容確認調査	範確	10.0	
長崎原爆神社岩陰遺跡	長崎市	長崎市	2019/1/18	2019/3/18	保存目的の範囲内容確認調査	範確	58.0	
川迎貝塚	佐世保市	佐世保市	2018/6/25	2018/6/26	個人住宅	範確	3.6	
宮の本遺跡	佐世保市	佐世保市	2018/6/27	2018/10/15	保存目的の範囲内容確認調査	範確	266.0	
竹辺C遺跡(隣接地)	佐世保市	佐世保市	2018/7/20	2018/7/25	個人住宅・宅地造成	試掘	2.3	
直谷稲荷神社岩陰遺跡	佐世保市	佐世保市	2018/8/24	2018/10/9	保存目的の範囲内容確認調査	範確	6.0	
二本松遺跡	佐世保市	佐世保市	2018/7/31	2018/8/1	住宅	範確	4.5	
大念寺遺跡(隣接地)	佐世保市	佐世保市	2018/6/12	2018/6/13	個人住宅	試掘	3.0	
二本松遺跡	佐世保市	佐世保市	2018/10/1	2018/10/2	その他建物(車庫)	範確	3.8	
早岐瀬戸遺跡	佐世保市	佐世保市	2018/10/10	2018/10/11	その他建物(共同住宅)	範確	4.0	
母ヶ浦B遺跡(隣接地)	佐世保市	佐世保市	2018/10/31	2018/11/2	住宅	範確	9.0	
佐世保市萩坂町	佐世保市	佐世保市	2018/12/21	2018/12/25	宅地造成	範確	30.0	
広田城跡	佐世保市	佐世保市	2018/12/10	2018/12/27	住宅	範確	20.7	
重要文化財 旧佐世保無線電信所(針尾送信所)施設	佐世保市	佐世保市	2018/10/29	2018/10/30	その他開発(通路整備等)	試掘	14.0	
中里B遺跡	佐世保市	佐世保市	2019/2/6	2019/2/13	宅地造成	範確	36.0	
江永東窯跡	佐世保市	佐世保市	2019/3/27	2019/4/19	個人住宅	範確	6.8	
島原城跡	島原市	島原市	2018/6/22	2018/9/30	保存目的の範囲内容確認調査	範確	479.6	
島原城跡	島原市	島原市	2019/1/15	2019/1/16	個人住宅	範確	2.9	
尾和谷城跡	諫早市	諫早市	2018/10/19	2018/12/17	鉄道(新幹線の送電線鉄塔)	範確	8.0	
富の原遺跡	大村市	大村市	2018/4/18	2018/4/20	その他開発(駐車場)	範確	26.0	
三城城下跡	大村市	大村市	2018/6/4	2018/6/7	個人住宅	範確	14.0	
竹松遺跡	大村市	大村市	2018/5/28	2018/6/8	その他建物(倉庫)	範確	6.5	
黒丸遺跡	大村市	大村市	2018/6/27	2018/7/11	住宅	範確	60.0	
帯取遺跡	大村市	大村市	2018/7/9	2018/7/18	宅地造成	範確	38.3	
三城城下跡	大村市	大村市	2018/8/21	2018/8/21	個人住宅	範確	3.0	
竹松遺跡	大村市	大村市	2018/8/7	2018/8/9	宅地造成	範確	46.5	
竹松遺跡	大村市	大村市	2018/8/23	2018/8/24	宅地造成	範確	570.3	
三城城下跡	大村市	大村市	2018/9/3	2018/9/3	個人住宅・その他建物(倉庫)	範確	6.0	
黒丸遺跡	大村市	大村市	2018/7/23	2018/7/26	住宅	範確	16.5	
黒丸遺跡	大村市	大村市	2018/9/5	2018/9/6	その他の農業関係事業(農道等も含む)	範確	12.0	
竹松遺跡	大村市	大村市	2018/10/3	2018/10/3	個人住宅	範確	10.5	
竹松遺跡	大村市	大村市	2018/8/3	2019/2/15	道路	本調査	2,427.0	
立小路遺跡	大村市	大村市	2018/10/18	2018/10/23	店舗	範確	16.0	
三城城下跡	大村市	大村市	2018/11/14	2018/11/15	個人住宅	範確	3.5	
富の原遺跡	大村市	大村市	2018/11/22	2018/11/22	その他開発(駐車場)	範確	8.0	
黒丸遺跡	大村市	大村市	2018/11/12	2018/11/30	その他開発(車両スペース)	範確	121.0	
坂口・内高野遺跡	大村市	大村市	2019/1/10	2019/1/10	個人住宅	範確	6.0	
聖宝寺跡	大村市	大村市	2018/12/17	2018/12/20	宅地造成	範確	18.0	
竹松遺跡	大村市	大村市	2018/12/10	2018/12/21	宅地造成	範確	45.0	
竹松遺跡	大村市	大村市	2018/12/10	2018/12/14	宅地造成	範確	34.0	
黒丸遺跡	大村市	大村市	2018/12/19	2018/12/19	宅地造成	範確	4.5	
東山遺跡	大村市	大村市	2018/11/27	2018/11/28	宅地造成	範確	24.0	
竹松遺跡	大村市	大村市	2019/2/21	2019/2/22	個人住宅	範確	10.5	
冷泉遺跡	大村市	大村市	2019/2/1	2019/2/22	宅地造成	範確	84.0	
黒丸遺跡	大村市	大村市	2019/2/6	2019/2/6	個人住宅	範確	2.0	
黒丸遺跡	大村市	大村市	2019/3/7	2019/3/20	宅地造成	範確	69.5	
大崎みやま遺跡	平戸市	平戸市	2018/6/21	2018/6/26	その他開発(太陽光施設)	範確	25.0	
国指定史跡平戸和蘭商館跡(隣接地)	平戸市	平戸市	2018/7/18	2018/7/25	保存目的の範囲内容確認調査	試掘	50.0	
西山遺跡	平戸市	平戸市	2018/11/7	2018/11/8	その他の建物(地震計)	範確	9.0	
伝三浦按針墓地遺跡	平戸市	平戸市	2018/9/25	2018/10/25	公園造成	範確	50.0	
大堤遺跡	松浦市	松浦市	2018/7/10	2018/7/12	その他建物(携帯電話の無線基地局)	範確	4.3	
青島遺跡	松浦市	松浦市	2018/11/12	2018/11/15	その他の建物(小型風力発電設備設置)	範確	16.0	
青島遺跡	松浦市	松浦市	2018/11/19	2018/11/20	その他の建物(小型風力発電設備設置)	範確	4.0	
中ノ瀬遺跡	松浦市	松浦市	2018/12/21	2019/1/18	道路	範確	33.0	
寺ノ尾A遺跡	松浦市	松浦市	2019/1/21	2019/1/22	その他開発(太陽光発電設備設置)	範確	8.0	
段ノ上遺跡	松浦市	松浦市	2018/11/12	2018/12/10	その他建物(小型風力発電設備設置)	範確	6.2	
青島遺跡	松浦市	松浦市	2018/11/12	2018/12/10	その他建物(小型風力発電設備設置)	範確	60.0	

平成 30 年度 長崎県における発掘調査の履歴（2）

遺跡名	遺跡所在地	調査主体	調査開始日	調査終了日	調査原因	調査種別	調査面積 (㎡)	備考
一町田遺跡	松浦市	松浦市	2018/11/12	2018/12/10	その他建物(小型風力発電設備設置)	範確	10.3	
鷹島海底遺跡	松浦市	松浦市	2019/1/28	2019/2/6	保存目的の範囲内容確認調査	範確	800.0	
越高遺跡	対馬市	熊本大学	2018/9/7	2018/9/21	学術調査	範確	21.0	
石路遺跡	壱岐市	壱岐市	2018/11/5	2019/1/31	自然崩壊	本調査	300.0	
壱岐国安国寺跡	壱岐市	壱岐市	2018/6/7	2018/7/17	保存目的の範囲内容確認調査	範確	18.0	
小場遺跡	壱岐市	壱岐市	2018/6/4	2018/10/12	その他の農業関係事業(農道等を含む)	本調査	135.0	
原の辻遺跡	壱岐市	壱岐市	2018/10/3	2018/10/15	その他の農業関係事業(農道等を含む)	範確	5.0	
中砂遺跡	壱岐市	壱岐市	2018/11/22	2018/11/26	自然崩壊	範確	20.0	
カラカミ遺跡	壱岐市	壱岐市	2019/1/17	2019/1/17	自然崩壊	範確	16.0	
カラカミ遺跡	壱岐市	壱岐市	2018/9/1	2019/1/18	保存目的の範囲内容確認調査	範確	200.0	
カラカミ遺跡	壱岐市	壱岐市	2018/9/1	2019/1/18	保存目的の範囲内容確認調査	範確	100.0	
坪遺跡(周辺)	壱岐市	壱岐市	2019/1/30	2019/2/4	自然崩壊	試掘	15.0	
石路遺跡	壱岐市	壱岐市	2018/11/8	2019/2/15	自然崩壊	範確	340.0	
皿山窯跡	五島市	長崎大学	2018/9/14	2018/9/19	学術調査	範確	20.0	
伊古遺跡	雲仙市	雲仙市	2018/5/22	2018/6/28	その他建物(新庁舎)	範確	26.0	
赤原遺跡(隣接地)	雲仙市	雲仙市	2018/6/15	2018/6/25	農業基盤整備事業(農道等を含む)	試掘	6.0	
ドンク石遺跡(隣接地)	雲仙市	雲仙市	2018/6/15	2018/6/25	農業基盤整備事業(農道等を含む)	試掘	2.0	
火箱遺跡	雲仙市	雲仙市	2018/7/2	2018/12/25	農業基盤整備事業(農道等を含む)	本調査	3,450.0	
赤原遺跡(隣接地)	雲仙市	雲仙市	2018/8/6	2018/8/9	農業基盤整備事業(農道等を含む)	試掘	2.0	
高下古墳(隣接地)	雲仙市	雲仙市	2018/7/24	2018/8/9	その他の農業関係事業(農道等を含む)	試掘	10.0	
合津(愛津)城跡	雲仙市	雲仙市	2018/12/5	2018/12/5	宅地造成	範確	4.0	
山田条理跡	雲仙市	雲仙市	2018/11/8	2018/11/9	その他の農業関係事業(農道等を含む)	範確	2.0	
山田条里跡	雲仙市	雲仙市	2018/11/1	2018/11/2	道路	範確	2.0	
山田条里跡	雲仙市	雲仙市	2018/11/1	2018/11/6	道路	範確	4.0	
中熊遺跡	雲仙市	雲仙市	2018/10/15	2018/10/30	その他の農業関係事業(農道等を含む)	範確	4.5	
筏遺跡A	雲仙市	雲仙市	2018/11/15	2018/11/16	個人住宅	範確	3.0	
鼻穿石遺跡	雲仙市	雲仙市	2019/1/7	2019/3/14	農業基盤整備事業(農道等を含む)	本調査	1,350.0	
下高野遺跡(隣接地)	雲仙市	雲仙市	2019/2/1	2019/2/7	農業基盤整備事業(農道等を含む)	試掘	4.0	
守山大塚古墳	雲仙市	雲仙市	2019/2/8	2019/2/22	その他の建物	範確	3.6	
山田条理跡	雲仙市	雲仙市	2019/3/25	2019/3/26	個人住宅	範確	4.0	
横田地区	雲仙市	雲仙市	2019/3/13	2019/3/18	農業基盤整備事業(農道等を含む)	範確	12.0	
大善寺跡	南島原市	南島原市	2018/4/10	2018/5/2	個人住宅	範確	6.0	
大坂遺跡	南島原市	南島原市	2018/4/23	2018/5/21	道路	本調査	150.0	
中萩原遺跡	南島原市	南島原市	2018/5/22	2018/8/10	道路	本調査	200.0	
東大窪遺跡	南島原市	南島原市	2018/5/22	2018/8/17	道路	本調査	431.0	
史跡 原城跡(隣接地)	南島原市	南島原市	2018/5/11	2018/6/21	その他建物(サイン・物販施設)その他開発(駐車場整備)	試掘	64.0	
野中D遺跡	南島原市	南島原市	2018/8/20	2018/8/27	農業基盤整備事業(農道等を含む)	範確	8.0	
東石原遺跡	南島原市	南島原市	2018/8/20	2018/8/27	農業基盤整備事業(農道等を含む)	範確	8.0	
出口遺跡	南島原市	南島原市	2018/8/20	2019/3/13	農業基盤整備事業(農道等を含む)	本調査	1,788.0	
石原遺跡	南島原市	南島原市	2018/8/31	2019/3/8	農業基盤整備事業(農道等を含む)	本調査	1,066.0	
東石原遺跡	南島原市	南島原市	2018/8/31	2019/11/2	農業基盤整備事業(農道等を含む)	本調査	281.0	
木場遺跡	南島原市	南島原市	2018/11/27	2018/11/30	その他の農業関係事業(農道等を含む)	範確	16.0	
山ノ寺榎木遺跡	南島原市	南島原市	2019/3/13	2019/3/19	その他建物(社員寮)	範確	16.0	

平成 30 年度 県教委発行の埋蔵文化財発掘調査報告書一覧

編集機関	報告書名	収録遺跡	シリーズ名	集数
新幹線文化財 調査事務所	平ノ前城跡	平ノ前城跡	新幹線文化財調査 事務所調査報告書	10
	竹松遺跡Ⅲ	竹松遺跡		6
	竹松遺跡	竹松遺跡	長崎県文化財調査 報告書	217
長崎県 埋蔵文化財センター	長崎県埋蔵文化財調査年報26 (平成29年度調査分)	諫早農業高校遺跡・頭ヶ島白 浜遺跡・平ノ前城跡・川端遺 跡・竹松遺跡・中島遺跡・宇 多尾遺跡・樋渡地点・大谷第 1遺跡・原の辻遺跡・平ノ前 城跡・鷹島海底遺跡・田川遺 跡	長崎県埋蔵文化財 センター調査報告 書	28
	竹松遺跡	竹松遺跡		29
	大谷第1遺跡	大谷第1遺跡		30
	太田遺跡	太田遺跡		31
	原の辻遺跡	原の辻遺跡		32

平成 30 年度 県内市町発行の埋蔵文化財発掘調査報告書一覧

編集機関	報告書名	収録遺跡	シリーズ名	集数
長崎市教育委員会	出島和蘭商館跡	出島和蘭商館跡	—	—
	出島和蘭商館跡	出島和蘭商館跡	—	—
	桜町遺跡	桜町遺跡	—	—
	唐人屋敷跡	唐人屋敷跡	—	—
	小島養生所跡及び関連遺跡	小島養生所跡及び関連遺跡	—	—
佐世保市教育委員会	鬼塚古墳	鬼塚古墳	佐世保市文化財調 査報告書	17
大村市教育委員会	大村市市内遺跡発掘調査概報9	黒丸遺跡・富の原遺跡・冷 泉遺跡・帯取遺跡・龍福寺 跡・坂口町石棺墓	大村市文化財調査 報告書	43
壱岐市教育委員会	市史跡カラカミ遺跡6次(カラカ ミX区・XI区・XII区)・市史 跡カラカミ遺跡7次(カラカミX 区追加調査・XIII区)・国特別史 跡原の辻遺跡(1244-1地点)	カラカミ遺跡・原の辻遺跡	壱岐市文化財調査 報告書	29
雲仙市教育委員会	浚松遺跡・源次広野遺跡・永中道 遺跡	浚松遺跡・源次広野遺跡・ 永中道遺跡	雲仙市文化財調査 報告書	18
南島原市	大苑遺跡	大苑遺跡	南島原市文化財調 査報告書	12
	宮野遺跡	宮野遺跡		13
	慈音遺跡	慈音遺跡		14
	浦田遺跡	浦田遺跡		15
	大坂遺跡	大坂遺跡		16
東彼杵町教育委員会	野岳遺跡	野岳遺跡	東彼杵町文化財調 査報告書	7

Ⅱ. 本県の埋蔵文化財保存活用事業

～ 明日につなぐ埋蔵文化財人づくり事業 ～

1. 長崎県市町文化財保護行政主管課長会議・担当者会議

目的 市町文化財保護行政主管課長及び担当者に対し、平成31年4月1日に施行される文化財保護法に関する新たな情報を習得する場を提供し、今後の県・市町の取り組みについての情報共有や意見交換を行い、円滑な推進を図る。

期日 平成30年8月30日（木）

会場 長崎県農協会館

参加者 各市町文化財保護主管課長及び担当者

県関係各課長および担当者（関係機関を含む）計 56名

内容

- ・講演「文化財保護制度の見直しについて」（文化庁文化財部伝統文化課 中谷一穂）
- ・事例報告①「長崎市歴史文化基本構想」（長崎市文化観光部文化財課 宮下雅史）
- ・事例報告②「平戸市歴史文化基本構想」（平戸市文化観光商工部文化交流課 植野健治）
- ・報告説明等 ①日本芸術文化振興基金による助成制度について
②平成30年度文化財関係補助制度について
③史跡・名勝・天然記念物の現状変更について
④県指定有形文化財（美術工芸品）の管理と公開のあり方について

2. 開発部局・文化財保護部局担当者文化財基礎研修

目的 (1) 開発部局担当者に文化財に対する理解を深めてもらい、その取り扱いについて具体的な情報を提供することにより、円滑な文化財行政を推進する。

(2) 文化財主管課担当者に基礎的な知識を習得する場を提供し、文化財の保護に関する基本的な考え方や事務手続きなどの理解を深めさせ資質の向上を図る。

期日 平成30年6月1日（金）

会場 長崎県庁

参加者 ・県及び市町開発部局担当者

・県及び市町文化財担当者（実務経験3年未満を主体）計 89名

内容

- ・埋蔵文化財保護行政と埋蔵文化財包蔵地における開発に係る諸届について
- ・事例報告「新幹線建設と埋蔵文化財」（鉄道建設・運輸施設整備支援機構九州新幹線建設局 小川秀平）
- ・適切な埋蔵文化財関係補助金の執行について



研修風景

- ・事例報告「波佐見町における史跡整備」（波佐見町教育委員会文化財保護係 中野雄二）
- ・事例報告「対馬市における史跡整備」（対馬市教育委員会文化財課 尾上博一）
- ・グループ・ディスカッション（史跡整備、文化財活用関連）

3. 埋蔵文化財担当者専門技術研修

目的 遺跡から出土する「土器・陶磁器類」の基礎的な知識および調査方法の研修を行うことで、埋蔵文化財専門職員としての資質の向上を図る。

期日 平成30年12月20日（木）・21日（金）

会場 長崎県教育庁新幹線文化財調査事務所

講師 山本信夫（早稲田大学客員主任研究員）、柴田亮（大村市文化振興課）

参加者 県内埋蔵文化財担当者23名

- 内容**
- ・古代～中世の土器・貿易陶磁の分析基準
 - ・竹松遺跡出土遺物等資料実見
 - ・中世肥前西部地域における在り系土器研究の現状と課題



研修風景



竹松遺跡出土遺物等資料実見

Ⅲ. 長崎県埋蔵文化財センターの事業

1. 調査研究事業

長崎県埋蔵文化財センターでは、原の辻遺跡調査研究事業として、遺跡内の環濠や旧地形等の状況調査を目的に平成14年度から国庫補助を受けながら範囲確認調査を実施している。調査は10年ごとに調査計画を立てて行っているものであり、現在行っている調査計画は、遺跡の北東側から南東側にかけての遺跡の広がりや遺構の状況を確認するために平成24年度からの10年計画を作成し実施しているものである。

平成30年度は丘陵北東側の低地部である芦辺高原地区の調査を実施した。ここは平成6年度に行われた幡鈴川流域総合整備事業の排水路と農作業道路施工に伴い発掘調査が実施された調査区の隣接地にあたり、石組遺構や溝跡が検出されていた。今回の調査はこれらの遺構の広がりや環濠の有無を確認する目的で実施した。調査は5か所のトレンチを設定し、約500㎡の面積で実施した。主な遺構としては、石列や溝、畦畔、人為的に形成された土地の造成跡（水田造成か）などが確認されたが、いずれも近世以降の遺構であることが確認された。原の辻遺跡の主体部から続く丘陵の北東端部でありながら、弥生時代の遺構や遺物がほとんど確認されなかったことは、逆に場の利用を考える上で課題として投げかけられた調査成果であった。



平成30年度芦辺高原地区調査区及び遺構検出状況

2. 保存処理事業

県保有資料の木製品 35 点と金属製品 204 点の計 239 点に関して国庫補助事業を活用して保存処理を行った（表 1）。木製品はトレハロース含浸処理法により保存処理を実施した。金属製品は主に鉄製品と銅製品に大別されるが、いずれも透過 X 線撮影等事前調査を実施したのち、錆取り作業⇒脱塩処理（銅製品はベンゾ・トリ・アゾール（BTA）処理）⇒樹脂強化含浸処理⇒接合・修復を実施した。

表 1 平成 30 年度国庫補助事業による保存処理一覧

◆木製品：35点

遺跡名	所在地	調査番号	処理点数	処理方法	備考
原の辻遺跡	壱岐市	201513	35	トレハロース含浸処理	長崎県埋蔵文化財センター調査報告書第20集

◆金属製品：204点

遺跡名	所在地	調査番号	処理点数	処理方法	備考
竹松遺跡	大村市	201202	3	透過 X 線撮影 ↓ 錆取り・クリーニング ↓ 脱塩・BTA処理 ↓ 接合 ↓ 樹脂含浸強化	新幹線文化財調査事務所調査報告書第5集
竹松遺跡	大村市	201403	3		新幹線文化財調査事務所調査報告書第11集
竹松遺跡	大村市	201404	20		新幹線文化財調査事務所調査報告書第11集
竹松遺跡	大村市	201405	59		新幹線文化財調査事務所調査報告書第11集
竹松遺跡	大村市	201408	1		長崎県文化財調査報告書第214集
竹松遺跡	大村市	201501	8		新幹線文化財調査事務所調査報告書第12集
竹松遺跡	大村市	201504	1		長崎県文化財調査報告書第217集
竹松遺跡	大村市	201506	3		—
原の辻遺跡	壱岐市	201513	1		長崎県埋蔵文化財センター調査報告書第20集
一里松遺跡	諫早市	201601	1		新幹線文化財調査事務所調査報告書第7集
平ノ前城跡	大村市	201611	2		新幹線文化財調査事務所調査報告書第10集
平ノ前城跡	大村市	201703	20		新幹線文化財調査事務所調査報告書第10集
原の辻遺跡	壱岐市	201710	2		長崎県埋蔵文化財センター調査報告書第32集
栄町遺跡	長崎市	NK162	80		長崎県文化財調査報告書第162集

総計：239点

また県内市町が保有する資料に関しても所定の申請を行えば保存処理施設の利用を許可しており、平成 30 年度は 5 市からの利用があり計 896 点の保存処理を行った（表 2）。

表 2 県内市町保存処理点数一覧

市町名	利用機関	種別	点数
長崎市	出島復元整備室	木製品	49
佐世保市	佐世保市文化財課	木製品	13
		金属製品	308
諫早市	美術・歴史館	金属製品	87
壱岐市	壱岐市文化財課	金属製品	24
		土器	1
雲仙市	雲仙市社会教育課	金属製品	14
		土器	400

計：896点

出土遺物の保存処理に伴う事前調査機器（精密分析機器）も保有し、金属製品の材質分析や構造調査も行っている。外部利用も受け入れており、平成30年度は9機関が、透過X線撮影装置、蛍光X線分析装置、三次元計測器、携帯型蛍光X線分析装置などを利用した（表3）。

表3 平成30年度 精密分析機器外部利用一覧

利用時期	利用者	利用内容	使用機器
2018年4月	佐世保市文化財課	金属製品の保存処理	透過X線撮影、錆取り装置
2018年5月	雲仙市教育委員会	黒曜石の産地推定	蛍光X線分析装置
2018年6月	松浦市教育委員会	金属製品の調査	透過X線撮影、蛍光X線分析
2018年6月	九州歴史資料館	金属製品の調査	透過X線撮影装置、蛍光X線分析装置
2018年8月	対馬市教育委員会	銅矛の調査	蛍光X線分析装置、三次元計測器
2018年8月	大村市教育委員会	赤色顔料の分析	携帯型蛍光X線分析装置
2018年8月	佐世保市文化財課	赤色顔料の分析	携帯型蛍光X線分析装置
2018年10月	佐世保市文化財課	黒曜石の産地推定	蛍光X線分析装置
2018年12月	新幹線文化財調査事務所	黒曜石の産地推定	蛍光X線分析装置
2018年12月	雲仙市教育委員会	黒曜石の産地推定	蛍光X線分析装置
2019年1月	唐津市教育委員会	丁銀の調査	透過X線撮影、蛍光X線分析
2019年1月	長崎純心大学	キリシタン資料の調査	携帯型蛍光X線分析装置
2019年2月	雲仙市教育委員会	金属製品の調査	透過X線撮影、蛍光X線分析

3. 教育普及事業

(1) オープン収蔵展示

調査研究の成果を紹介するため、併設する壱岐市立一支国博物館のオープン収蔵庫（高さ5mのガラス張りで、キッズこうこがく研究所および博物館2階より内部を見ることができる収蔵庫）を活用して、遺物の展示を行っている。平成30年度は以下の2つのテーマで遺物展示を行った。

第1回目『土器のおはなし展—ドクメンタリーながさき—』では、縄文時代から古代までの土器、虫や植物などの痕跡が残った土器など約200点と、長崎県立壱岐高等学校東アジア歴史・中国語コースの生徒による土器焼成の研究発表も合わせて紹介した。

第2回目『発掘された竹松遺跡—浮かび上がる大村の軌跡—』では、近年竹松遺跡で発掘された縄文時代から江戸時代初頭までの遺構や出土品を前期・後期に分けて紹介し、前期展示は、縄文時代から古墳時代までの出土品約130点を展示した。



『土器のおはなし展』展示コーナーの一角



『発掘された竹松遺跡』展示コーナーの一角

テーマ	主な展示品	期間
『土器のおはなし展—土器メンタリーながさき—』	豆粒文土器レプリカ(泉福寺洞窟:佐世保市)、黒色磨研土器(黒丸遺跡:大村市)、深鉢形土器(大浜遺跡:五島市)、有孔土製品(名切遺跡:苓崎市)、土師器高坯(久留里遺跡:時津町)、苓岐高校東アジア歴史・中国語コース生徒による土器研究発表 など	平成30年9月7日 ～ 平成31年3月3日
『発掘された竹松遺跡—浮かび上がる大村の軌跡—』	縄文晩期精製土器、垂飾、石斧、埋甕、内行花文鏡、ガラス製小玉、鉄斧、肥前型器台、甕棺、須恵器ハソウ、鉄製農具、勾玉、耳環、など	【前期】 平成31年3月8日 ～ 令和元年6月30日

(2) 情報誌

一般向けの情報誌『長崎県の埋蔵文化財ガイドブック』をA4サイズのフルカラー全24ページで発刊した。県内の遺跡をわかりやすく解説した記事のほか、遺跡の保護や埋蔵文化財センターの役割についての記事を掲載しており、図書館や教育機関、一支国博物館及び埋蔵文化財センターへの訪問者などに配布し、ホームページにも掲載している。



(3) ホームページおよび Facebook の公開更新

ホームページ (<http://www.nagasaki-maibun.jp/>) には『施設案内』のほか、近年の発掘成果を紹介している『発掘情報』、オープン収蔵展示や教育支援事業などを紹介する『インフォメーション』、刊行物やキッズこうこがく研究所のイベントなどを紹介する『イベント情報』、収蔵している出土品や精密分析機器の『施設利用』に関する申請書などを掲載している。また平成26年9月からは Facebook ページ (<http://fb.com/1461241530809034>) を開設し、親しみやすい情報の発信に取り組んでいる。

(4) 体験学習

『精密分析機器で調べてみよう』と題し、主に小学生を対象とした体験学習を年間10回行っている。子どもたちに分かりやすく、また興味を示すようなアイデアを盛り込み、各機器の特性を活かした工夫をこらしている。身近なものを、精密機器を用いて観察、分析することで得られる情報から、埋蔵文化財センターの仕事内容や成果の普及活動に努めている。平成30年度は10回の開催で計96名の参加があった。



『精密分析機器で調べてみよう』

(5) バックヤードツアー

埋蔵文化財センターに併設されている一支国博物館では、毎月第3土曜日にバックヤードツアーをセンターと共催で実施している。埋蔵文化財センターの保存処理施設や出土品収蔵庫等を見学するツアーで、博物館学芸員とセンター職員とで対応している。平成30年度は12回の開催で計57名の参加があった。

(6) 資料貸出・閲覧・掲載許可

収蔵する出土品の貸出や資料閲覧、写真等掲載に関して、所定の申請を受け、使用目的等適切であれば許可している。平成30年度は出土品の貸出1件、資料閲覧9件、写真掲載許可申請9件に関して対応した。

(7) 長崎県立壱岐高等学校「東アジア歴史・中国語コース」支援

本センターの特色ある取組の一つとして、壱岐高校の東アジア歴史・中国語コース支援をあげることができる。この取組では、センター職員がコースの授業を担当したり体験入学等を支援したりしている。平成30年度は、1年生の「歴史学入門」を7回、2年生の「考古学入門・生活文化史」を12回、3年生の「課題研究支援」を5回実施となっているが、昨年度に引き続き、奈良大学と奈良県が主催している「歴史フォーラム」に研究論文を応募するための研究支援を中心に行った。1年次に考古学の基礎知識の講義を先行して取り入れ、2年次の9月まで通常の授業時間および放課後の時間帯に論文研究のための支援を行った。論文研究は2年生が「長崎県壱岐市大久保海岸遺跡の研究」を行い、上位10組の佳作に選ばれた。本コース支援の特色である原の辻遺跡の発掘体験は悪天候のため実施できなかった。また、2回行われた体験入学においては、参加した保護者や中学生に対して授業内容の紹介やセンター施設の見学等を実施した。

学校設定科目の授業に関すること

月	日	曜	歴史学入門(1年)		考古学入門・生活文化史(2年)		課題研究(3年)	
			授業名	担当者	授業名	担当者	授業名	担当者
4	16	月	博物館・センター見学(見学)	片多・古澤・長岡				
	18	水			考古学研究法①(講義)テーマ決め	古澤・長岡	課題研究支援①	古澤・長岡
5	9	水			考古学研究②(実習)フィールドワーク	古澤・長岡	課題研究支援②	古澤・長岡
	23	水			考古学研究③(演習)整理作業	古澤・長岡	課題研究支援③	古澤・長岡
6	13	水			考古学研究④(演習)整理作業	古澤・長岡	課題研究支援④	古澤・長岡
	20	水	東アジアの地誌(講義)	古澤・長岡	東アジアの地誌(講義)	古澤・長岡		
7	4	水	東アジアの歴史(講義)	古澤・長岡	東アジアの歴史(講義)	古澤・長岡		
	11	水			考古学研究⑤(演習)整理作業	古澤・長岡	課題研究支援⑤	古澤・長岡
	18	水			考古学研究⑥(演習)整理作業	古澤・長岡		
8	22	水			考古学研究⑦(演習)論文作成	古澤・長岡		
9	19	水			博物館学・展示方法の研究(講義)	片多・長岡		
10	3	水			考古学調査法(講義)	室長・長岡		
	24	水	原の辻遺跡特論(講義)	室長・長岡	原の辻遺跡特論(講義)	室長・長岡		
1	16	水	考古学研究法①(講義)	古澤・長岡				
	23	水	木器・金属器概説(講義)	山梨・長岡				
2	6	水	博物館学・展示方法の研究(講義)	片多・長岡				

体験入学等に関すること

月	日	曜	行事名	担当者	行事内容
4	5	木	第1回センター・壱岐高連絡協議会	所長、室長、長岡	自己紹介、新年度のコース運営等の協議・調整
8	18	土	第1回コース体験入学	室長、長岡	コース授業の概要説明、一支国博物館・埋文センター案内
11	4	日	第2回コース体験入学	室長、長岡	コース授業の概要説明、一支国博物館・埋文センター案内
1	28	月	センター・壱岐高授業担当職員事前打ち合わせ	室長、長岡	連絡協議会前の事前打ち合わせ
2	27	水	コース3年生表敬訪問	館長、所長、室長、古澤、長岡	所長・授業に関わった職員との懇談会



講義の様子



体験入学の案内



フィールドワークの様子



土器焼成実験の様子

(8) 学校教育支援「埋文MA I BUN学びのサポート」

本センターは、「埋文MA I BUN学びのサポート」という学校教育支援を行っている。これは、センター職員の高い専門性や、石器・土器など実際の遺物、さまざまな機器を活用したセンターでの学習や出前授業等を通して、考古学への児童生徒の興味・関心を高めるほか、幅広い知識や技能の習得をサポートすることを目的として実施している。平成30年度は、13件304人の利用があった。列島展が開催されたため、利用者数が増えている

	日付	学校名	内容
1	5月10日	八幡小学校	博物館およびバックヤードの見学
2	5月17日	渡良小学校	バックヤードの見学
3	5月23日	初山小学校	バックヤードの見学
4	6月8日	箱崎小学校	バックヤードの見学
5	7月5日	志原小学校	バックヤードの見学
6	7月12日	三浦小学校	博物館およびバックヤードの見学
7	8月1日	長崎大学教育学部	博物館およびバックヤードの見学
8	8月2日	日本宝「しま」交流支援事業	博物館およびバックヤードの見学
9	9月18日	吉岐高体験入学	博物館およびバックヤードの見学
10	10月16日	石田中学校	バックヤードの見学
11	10月19日	虹の原特別支援学校吉岐分校高等部	バックヤードの見学
12	11月4日	吉岐高体験入学	博物館およびバックヤードの見学
13	12月3日	龍谷大学	博物館およびバックヤードの見学



センターの見学



日本の宝「しま」支援事業

4. 東アジア考古学研究事業

(1) 東アジア国際シンポジウムの開催

東アジア考古学研究室は本県が古代から東アジア交流の要衝として独特の文化を育んできた歴史的経緯を踏まえ、東アジア的視点に立った考古学研究を推進しその成果を発表している。平成30年度は「環濠集落 その源流をたどって 一環濠集落にみる東アジア交流」をテーマとしてシンポジウムを開催した。

○主 催 長崎県埋蔵文化財センター

○共 催 釜山博物館、長崎歴史文化博物館、壱岐市立一支国博物館

○後 援 長崎市教育委員会、壱岐市教育委員会、魏志倭人伝のクニグニネットワーク参加教育委員会、朝日新聞社、長崎新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、壱岐新聞社、(株)壱岐新報社、NHK長崎放送局、KTNテレビ長崎、NBC長崎放送、NCC長崎文化放送、NIB長崎国際テレビ、壱岐ビジョン株式会社

○日 時 長崎会場：平成30年10月20日（土）13:00～16:30

壱岐会場：平成30年10月28日（日）14:00～15:30

○場 所 長崎会場：長崎歴史文化博物館ホール

壱岐会場：壱岐市立一支国博物館多目的ホール

○参加者 210名

○内 容

<長崎会場>

第Ⅰ部 環濠集落としての原の辻遺跡

長崎県埋蔵文化財センター東アジア考古学研究室 古澤 義久

第Ⅱ部 嶺南地区 三韓時代環濠の性格検討

韓国・釜山博物館 金 宥 正

(通訳) 長崎県埋蔵文化財センター東アジア考古学研究室 古澤 義久

第Ⅲ部 パネルディスカッション「環濠集落にみる東アジア交流」

コーディネーター

龍谷大学 国際学部 国際文化学科 徐 光 輝

<壱岐会場>

①環濠集落としての原の辻遺跡

長崎県埋蔵文化財センター東アジア考古学研究室 古澤 義久

②環濠集落としてのカラカミ遺跡

壱岐市教育委員会文化財課 松見 裕二



【長崎会場】徐光輝先生



【長崎会場】金宥正先生



【長崎会場】シンポジウムのメンバー



【吉崎会場】講演の様子

(2) 東アジア諸国の研究機関との連携

平成 27 年に長崎県埋蔵文化財センターは韓国・釜山博物館と友好交流機関協定を締結し、相互に職員を派遣し、発掘調査に参加したり、共同で資料調査を実施しています。長崎県と釜山市では相互に関連のある資料が出土していますが、日韓の研究者双方の目で、同時に検討することで、交流の実態が明らかになってきました。また、中国・東北地方を中心とした研究機関とも連携を深めています。

① 韓国釜山博物館

○ 韓国訪問

日時：平成 30 年 9 月 11 日～ 14 日

内容：共同研究、盃山（ペサン）城跡、老圃洞（ノポドン）遺跡の発掘調査の視察

○ 長崎訪問

日時：平成 30 年 10 月 18 日～ 21 日

内容：共同研究、吉崎島内視察、東アジア国際シンポジウム、外海視察

②吉林省文物考古研究所

○長崎訪問

日時：平成30年9月18日～20日

内容：出土遺物検討、一支国博物館およびバックヤード紹介、壱岐島内視察

○中国訪問

日時：平成31年3月19日～21日

内容：吉林省文物考古研究所、吉林省博物院、吉林大学考古与艺术博物館の視察



【釜山博物館】遺物検討の様子



【吉林省文物考古研究所】遺物検討の様子



【釜山博物館】老圃洞遺跡の土器の検証



【吉林省文物考古研究所】対面式の様子

(3) 長崎県埋蔵文化財センター研究紀要第9号の刊行

本センターの研究紀要は、開所以来毎年刊行を重ねている。第9号では次の7本の論考を掲載した。

[内容]

隅田祥光・川道寛・片多雅樹・角縁進・及川穰「長崎県壱岐市八幡半島に見られる黒曜石の化学的特徴（報告）」

古澤義久「雲仙市愛野町愛津遺跡出土阿高式系土器の検討」

宮崎貴夫「長崎県本土地域の磨製石庖丁―片刃石庖丁を中心に―」

宮崎貴夫「原の辻・船着き場跡の土器から見えてくるもの」

山梨千晶「壱岐における弥生時代の鉄」

田中亜貴子・田中学・片多雅樹「近世長崎市中におけるガラス関連遺物について」

古澤義久・近藤佳恵「日本のメートル法化と近代磁器―長崎奉行所跡出土単位文磁器の紹介―」

IV. 平成 30 年度長崎県教育委員会による埋蔵文化財発掘調査の概要

1. ^{かわばた}川端遺跡【遺跡調査番号：201801】

所在地	大村市鬼橋町 123 他	調査担当	長崎県埋蔵文化財センター
調査原因	都市計画道路池田沖田線建設	調査面積	1,448 m ²
調査期間	平成 30 年 5 月 21 日～平成 30 年 10 月 10 日	調査区分	本調査
報告書	令和元年 10 月刊行予定	処置	調査後工事

立地

川端遺跡は大村市北部に広がる大村扇状地上に立地し、今回の調査地は多良山系を源流とする郡川左岸の自然堤防と考えられる微高地から扇状地へ下る緩斜面地に位置する。周辺には竹松遺跡や、立小路遺跡、平野遺跡が所在する。

調査

調査では調査区の南部で竪穴建物跡 1 軒、溝状遺構 1 条、土坑 1 基と多数のピットを、調査区の北部で石棺墓 5 基と溝状遺構 2 条、土坑 4 基を確認した。竪穴建物跡は床面近くから古式土師器や弥生時代後期の土器が出土しており、弥生時代終末期から古墳時代初頭の住居跡と考えられる。石棺墓 5 基は 3 基 (ST01、ST04、ST07) が後世の耕作や攪乱により壊された状態で確認されたが、1 基 (ST03) は蓋石以外の棺材が、もう 1 基 (ST05) は蓋石まで含めて完存する状態で確認された。ST03 からは副葬品と考えられる刀子が出土している。ST04 は蓋石と一方の側壁、小口部分が壊れ

失われていたが、残る側壁石材には赤色顔料が塗られており、石棺掘方の埋土にも赤色顔料が混ぜられている状況を確認できた。また ST05 では一方の石棺側壁材の下部に小さな石材をかませて両側壁の上端の高さが合うように調整していると考えられる状況を確認した。

まとめ

今回の調査では川端遺跡の集落と墓域の一端を確認することができた。特に ST04 は石材だけでなく掘方埋土にも赤色顔料を使用している点で特徴的である。ST05 も構築方法が特徴的であり、石棺構築時の石材調達などについて考える上で興味深い資料であると考えられる。

【調査担当：山梨】(文責：山梨)



遺跡位置図



石棺墓調査状況

2. ^{おおた}太田遺跡【遺跡調査番号：201802】

所在地 松浦市御厨町寺ノ尾免 275
調査原因 一般国道 497 号松浦佐々道路建設
調査期間 平成 30 年 7 月 4 日～9 月 4 日
報告書 平成 31 年 3 月刊行済み

調査担当 長崎県埋蔵文化財センター
調査面積 430 m²
調査区分 本調査
処置 調査後工事

立地

松浦市北部、星鹿半島の付け根に注ぐ竜尾川の中流域に位置する。吉井・江迎町境の白岳山麓に発する竜尾川に開析された独立丘陵の裾部に立地し、現在の水田より一段高い狭小な平場となっている。周辺は竜尾川と支流の合流地点にあたる。

調査

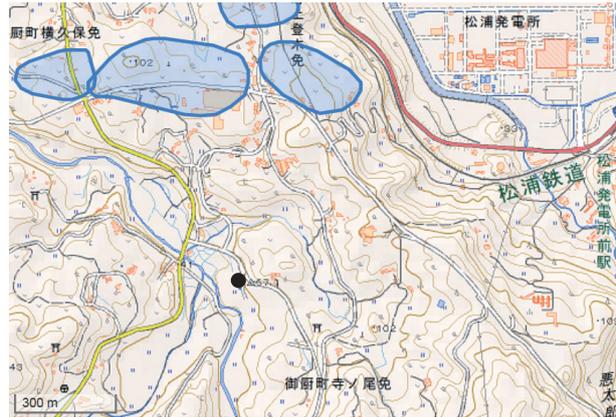
弥生土器片や古墳時代の土師器片を含む遺物包含層が厚さ 80cm ほど堆積しており、遺物の出土状況や年代観から古墳時代後期に形成されたものと考えられる。包含層には淘汰の悪い礫が含まれていることから、河川氾濫等による堆積と推定できる。また、包含層下部の河川堆積層にも土師器片が含まれており、全体として古墳時代における幾度かの河川堆積に起因する包含層と言える。

このような包含層の上部で検出された遺構に炉跡 7 基、溝状遺構 1 条、土坑 1 基がある。土坑の時期は不明だが、その他は古墳時代の所産と考えられる。炉跡はいずれも顕著な被熱面が確認できず焼土塊をまばらに含む程度であり、恒常的に使用されたものとは考えにくい。溝状遺構は長さ 5.5m・幅 1.6m ほどと短い深さは 1.2m あり、埋土下部はグライ化していた。出土遺物では、弥生時代中期土器片や古墳時代後期の土師器片が主である。土師器では椀が比較的多く、壺も一定度出土している。他に甌の把手及び多重タイプの蒸気孔を有する底部片が出土した。出土状況では、完形の壺と傍らの椀に壺上半部を被せた特徴的な状態も確認された。須恵器では蓋坏が主体であった。

まとめ

立地的な特徴や土器の器種構成、非恒常的な炉跡の多さなどは、いわゆる川辺の祭祀を想起させるものであった。ただ、祭祀遺跡に多く見られるような祭祀道具類の出土はなく、類例との比較検討が今後の課題であろう。

【調査担当：松元・千原】（文責：松元）



遺跡位置図



出土遺物

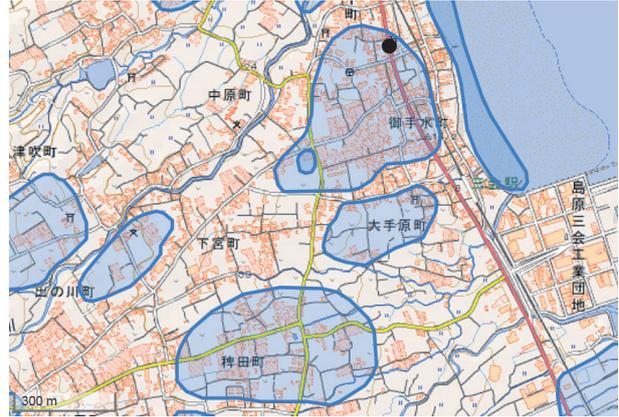
3. ^{はたなか}畑中遺跡【遺跡調査番号：201803】

所在地 島原市亀の甲町乙1668・1694
調査原因 国道251号線交通安全施設等整備工事
調査期間 平成30年12月3日～12月7日
報告書 刊行予定なし

調査担当 長崎県埋蔵文化財センター
調査面積 10㎡
調査区分 範囲確認調査
処置 平成31年度本調査予定

立地

島原半島東部に位置し、雲仙火山の火山麓扇状地末端にあたる。調査地点は標高12～14mほどの有明海沿いに立地する。28万㎡と広範囲に広がる当遺跡では、1991年に標高30m付近で工場建設関連の発掘調査が行われており、縄文時代晩期の埋甕や中世の溝状遺構・掘立柱建物跡・精錬鍛冶遺構が検出された。遺物では縄文時代早期・晩期・中世の包含層で多量の遺物が出土している。



遺跡位置図

調査

地点5のトレンチでは大きく3層にわたる遺物包含層を確認した。層厚は70cmほどで、縄文時代早期及び後・晩期、弥生時代中期、古代、中世の土器小片が多く出土した。少なくとも中世と縄文時代後・晩期の文化層が残存している可能性が高い。基本層序は、1層(耕作土・50cm厚・現代)、2層(黒ボク・20cm厚・中世)、3層(褐色シルト・10～30cm厚・古代～中世か)、4層(黒色シルト・30cm厚・縄文時代後・晩期か)・5層(カシノミ層)となる。出土遺物の内訳は、縄文時代早期の楕円押型文土器片、後・晩期土器片、安山岩系石器剥片、弥生時代中期土器片、8・9世紀代の須恵器壺・甕胴部片や坏蓋小片、9～11世紀代の黒色土器A類高台部ほかA類・B類小片、土師質土器片(へら・糸切底)、龍泉窯系青磁片、石鍋片、瓦質土器片、鉄滓1点、中型巻貝軸唇周辺部1点などがある。地点6のトレンチでは最大深度80cmまで掘削したが、表土・造成土と現代の攪乱坑1基を確認したのみで遺物包含層は認められず地山に達した。



トレンチ位置図 (S=1/2,000)

まとめ

地点5周辺は遺物包含層が厚く堆積しており、縄文時代から中世の遺物が出土した。周辺には遺構の存在する可能性もあるため、工事に際しては記録保存調査が必要である。

【調査担当：松元・千原】(文責：松元)

4. ^{よりがみかいづか}寄神貝塚【遺跡調査番号：201804】

所在地 五島市岐宿町岐宿字ハンナ 539 番・544 番・542 番

調査主体 五島市教育委員会

調査支援 長崎県埋蔵文化財センター

調査原因 小型風力発電設備設置工事

調査面積 15 m²

調査期間 平成 30 年 7 月 23 日・24 日

調査区分 範囲確認調査

報告書 刊行予定なし

処 置 設計変更

立 地

福江島北西部の岐宿浦に突き出た低平な溶岩台地上に立地する。1962・1963 年に九州大学を中心とした五島遺跡調査団によって発掘調査が行われ、竪穴建物跡や平地式建物跡、集骨のある土坑墓等の遺構に加え、80 種近くの岩礁性貝類を主とした厚い貝殻堆積層が確認された。今回の調査地点は、遺跡の主体となる台地より下った海際にあたる。



遺跡位置図

調 査

20 地点ほどある工事箇所はそれぞれ 1 辺 8m の平面正方形で、調査の必要な 3 地点 (WP58 - 12・23・25) は遺跡範囲の北東縁辺に位置する。特に 23・25 は旧海岸線の後浜から浜がけ部分に相当すると考えられる。各工事箇所に傾斜方向に合わせ幅 1m 程度のトレンチ (TP1～3) を設定した。最終的なトレンチの長さはそれぞれ 6.6m・4.6m・3.8m となった。調査の結果、TP1・3 では遺構・遺物ともに確認できなかったが、TP2 で弥生時代の遺物包含層を確認した。遺物は弥生時代中期の土器底部及び口縁部の破片 2 点と石器剥片 1 点である。



TP2 近景 (北東から)

まとめ

TP1・3 周辺での工事は問題なしとした。TP2 周辺は遺物包含層が確認されたため事業者に伝えたところ、工事を行わないこととなった。

【調査担当：松元】(文責：松元)

5. 原の辻遺跡【遺跡調査番号：201805】

所在地 壱岐市芦辺町深江平触 25-3、26-1

調査主体 長崎県教育委員会

調査原因 原の辻遺跡調査研究事業

調査面積 500 m²

調査期間 平成30年11月1日～平成30年12月28日

調査区分 範囲確認調査

報告書 平成31年度刊行予定

処置 調査後埋め戻し

立地

調査対象地は芦辺高原地区に所在する低地で、現在は水田として利用されている。

調査

調査区は、暗渠を避けるように5か所設定した。西から東へ1区～5区とし、それぞれの調査区は5m×20mで、総調査面積は500 m²である。表土と客土をバックホウで掘削した後、安全と土壌排出等作業上の理由から、調査区内を2分割し、西からa区(2.5m×8.25m)、b区(2.5m×8.25m)とし、小区間間は1mの間隔を置く。小区間内は人力で掘削した。調査区全体にわたる基本的な土層は次のとおりである。Ⅰ層：褐色粘質土。黒色粒子混じる。近代土。Ⅱ層：褐色粘質土。近代土。Ⅲ層：暗灰色粘質土。粘性強。しまり弱。近世・近代水田耕作土。Ⅳ層：暗灰色粘質土に青灰色粘質土が斑に混じる。Ⅲ層とⅥ層の混合。以上が近世・近代層。Ⅴ層：灰白色粘質土。直径1cm程度の黒色粒が多く混じる。弥生時代以前の無遺物層。Ⅵ層：青灰色粘質土。黒変した層が帯状に入る。弥生時代以前の無遺物層。弥生時代以前にⅥ層堆積後、Ⅴ層が堆積し、その後、Ⅴ層・Ⅵ層の基盤層を削平した部分にⅣ層からⅠ層が堆積したものとみられる。

近世・近代以前の溝状遺構2条と近世・近代の掘削跡、石列遺構、畦畔状遺構、木杭列などを検出した。遺物としては弥生土器の細片や磨石などの弥生時代遺物がわずかにみられたが、陶磁器や寛永通寶など近世・近代遺物が多く出土した。このほか現在の水田の排水溝に蓋として利用されていた弥生時代の礎石を採集した。

まとめ

明確に弥生時代の遺構と考えられる遺構は検出されなかった。調査区北側では近世・近代の掘削・水田利用が顕著であるため、弥生時代の遺構が存する場合、Ⅴ層またはⅥ層に掘り込まれた場合のみである。このような状況を踏まえた上でも、近世・近代土や表土からも弥生時代遺物の出土は相対的に少なく、元来弥生時代にはあまり土地利用がなされていなかった可能性が考えられる。



遺跡位置図



検出された石列遺構と畦畔状遺構

【調査担当：古澤・長岡】（文責：古澤）

6. ^{ながぬき}長貫B遺跡（隣接地）・^{じちゅう}寺中A遺跡・^{はらぐち}原口B遺跡・^{つぶき}津吹遺跡（隣接地） 【遺跡調査番号：201806～201809】

所在地 長貫B遺跡（隣接地）：島原市津吹町 415-3 地先
寺中A遺跡：島原市寺中町丙 2249-1・長貫町丙 1785 地先
原口B遺跡：島原市原口町丙 397 地先
津吹遺跡（隣接地）：島原市津吹町乙 1171・415-3 地先

調査担当 長崎県埋蔵文化財センター **調査原因** 島原道路（出平有明バイパス）建設

調査面積 長貫B遺跡（隣接地）：25.9 m² 寺中A遺跡：43.7 m²
原口B遺跡：18.2 m² 津吹遺跡（隣接地）：81.4 m²

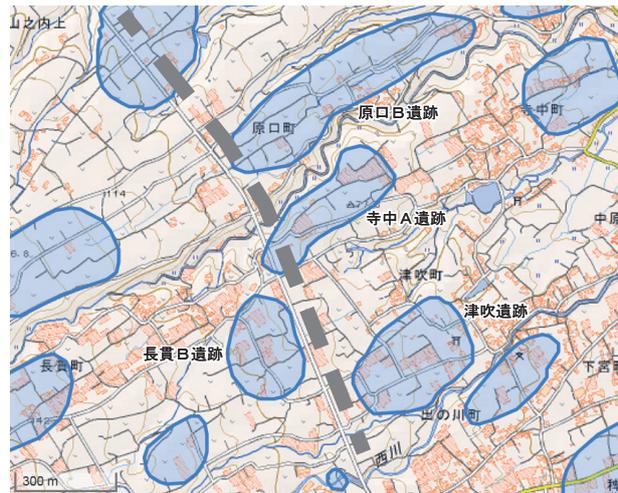
調査期間 平成31年3月4日～3月15日 **調査区分** 試掘・範囲確認調査

報告書 刊行予定なし

処置 本調査（寺中A遺跡・津吹遺跡（隣接地））

立地

調査原因となるバイパスは、諫早市と南島原市を結ぶ一般国道251号線「島原道路」の一部として、県央と島原半島間の時間短縮、定時性の確保を図ることで、産業の振興による地域の活性化や救急医療の強化を支援するものである。今回の調査範囲はこのバイパスの一部である出平有明バイパスの3分の1程度で、出平から約1kmの区間のうち立ち入り可能な用地である。長貫B遺跡・寺中A遺跡・原口B遺跡・津吹遺跡の4遺跡及びその隣接地が該当する。これら遺跡は島原半島東部、雲仙火山の火山麓扇



遺跡位置図（破線：バイパス予定路線）

状地下端にあたり標高は84～88m程度である。雲仙岳から放射状に伸びる舌状台地上にそれぞれ立地する。

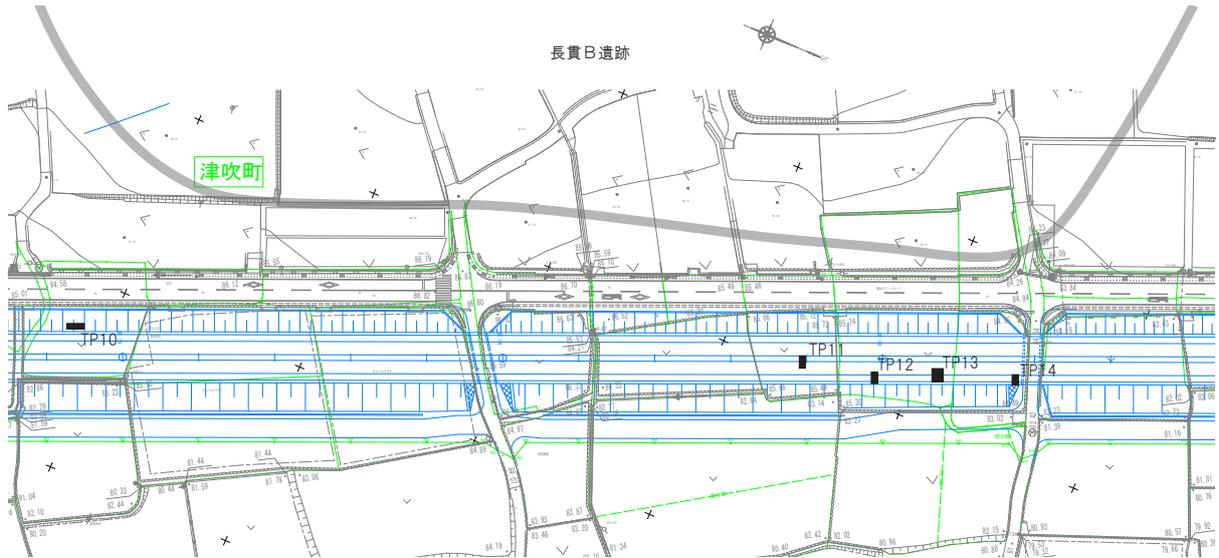
調査

バイパス建設用地のほとんどが直前まで畑地として利用されており、畑面の随所にトレンチ（TP）を設定し調査を行った。基本層序はⅠ層（耕作土等）、Ⅱ層（黒ボク）、Ⅲ層（褐色砂質土：火山灰由来か）、Ⅳ層（黒ボク）、Ⅴ層（カシノミ層：礫石原火砕流由来）、Ⅵ層（黒ボク）以下にまとめることができる。

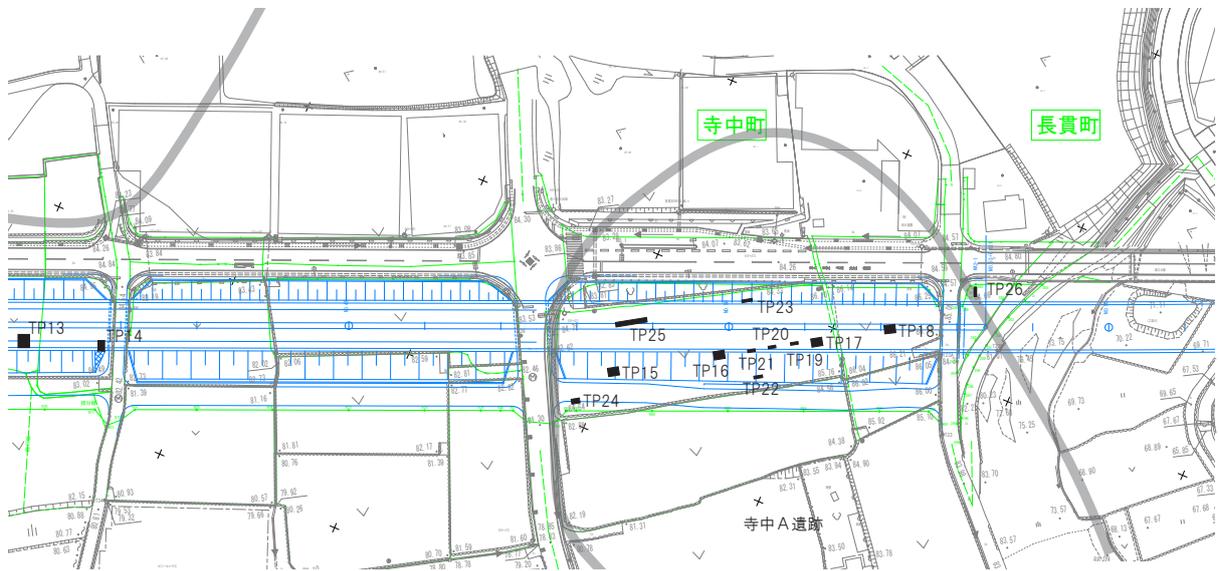
長貫B遺跡（隣接地）では、Ⅱ・Ⅲ層が削平を受け部分的にしか残存していない。また、Ⅱ・Ⅲ層の残存しているTP11・14でも遺構・遺物は確認できなかった。よって今回の調査範囲内



TP7 土層断面状況（西から）



長貫B遺跡周辺トレンチ位置図 (S=1/2,000)



寺中A遺跡周辺トレンチ位置図 (S=1/2,000)



TP16 土層断面及びピット完掘状況 (西から)



TP15・16 出土遺物

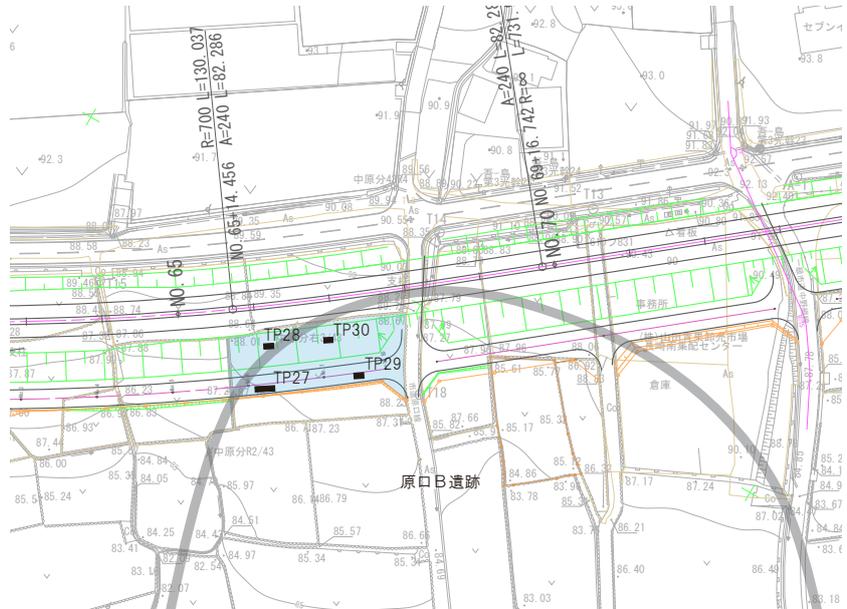
での工事は問題なしとした。

寺中A遺跡では、Ⅲ層上面で計5基のピットが検出された (TP15 で1基、TP16 で3基、TP21 で1基 (土坑状))。うち完掘した3基 (TP16) の埋土はⅡ層由来の均質な黒褐色土で、本来はⅡ層中より掘り込まれたものとみられ、建物を構成する柱穴の可能性がある。出土遺物ではⅡ層で主に縄文時代後・晩

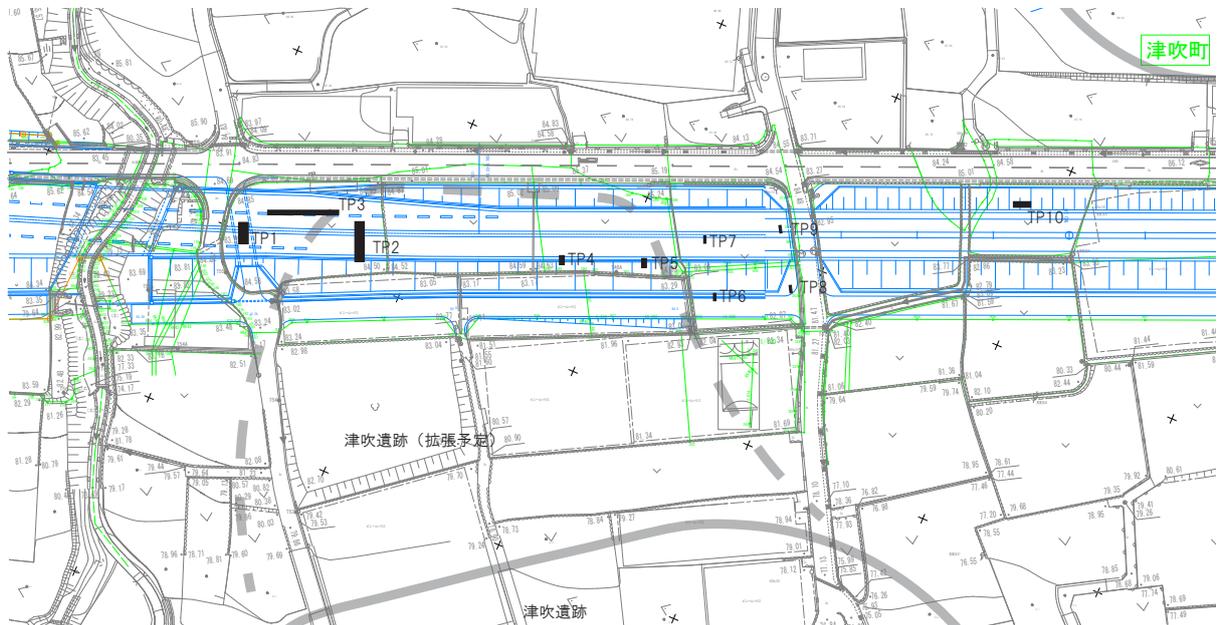
期の土器や黒曜石製の剥片・砂岩製砥石片が、Ⅲ層で縄文時代早期の押型文土器が出土した。Ⅱ～Ⅲ層境が縄文時代後・晩期の、Ⅲ層が縄文時代早期の文化層とみられる。Ⅱ層以下の残存する箇所はTP15・16・21・25、Ⅲ層以下の残存する箇所はTP19・20・22となる。また、耕作地の嵩上げ土として盛られた現代の造成土中で、赤彩の施された弥生土器小片や鉄製品（刀子）が出土した。現耕作土を含めこれら客土の由来地を検討する必要がある。

原口B遺跡の調査範囲はV層途中まで削平されている可能性が高く、V層以下に掘り込まれるような遺構は認められなかった。

津吹遺跡（隣接地）では、Ⅱ層で縄文～弥生時代・中世の土器・石器（扁平打製石斧・石鏃）が、Ⅲ層で縄文時代早期の押型文土器が出土した。TP1～5ではⅡ層が確認できたが、TP6～9ではⅡ・Ⅲ層が削平され残存していない可能性が高い。遺物包含層の確認された箇所を含むように遺跡範囲を拡張し遺跡地図を更新する必要がある。



原口B遺跡周辺トレンチ位置図 (S=1/2,000)



津吹遺跡周辺トレンチ位置図 (S=1/2,000)

まとめ

今回の試掘・範囲確認調査によって、該当区間での埋蔵文化財の状況のある程度は確認できたが、用地取得や作付け等の関係で立ち入りできなかった範囲については、令和元年度以降も引き続き調査する必要がある。

【調査担当：松元・千原・山梨】（文責：松元）

報告書抄録

ふりがな	ながさきけんまいぞうぶんかざいちょうさねんぼうにじゅうなな					
書名	長崎県埋蔵文化財調査年報27					
副書名	平成30年度調査分					
巻次	27					
シリーズ名	長崎県埋蔵文化財センター調査報告書					
シリーズ番号	第33集					
編集機関	長崎県埋蔵文化財センター					
所在地	〒811-5322 長崎県壱岐市芦辺町深江鶴亀触515-1 TEL0920 (45) 4080					
発行年月日	2019年6月28日					
所収遺跡名	所在地	遺跡コード		調査期間	調査面積 m ²	調査原因
		市町	遺跡番号			
川端遺跡	大村市	42205	181	20180521 ~ 20181010	1,448.0	道路
太田遺跡	松浦市	42208	163	20180704 ~ 20180904	430.0	道路
畑中遺跡	島原市	42203	017	20181203 ~ 20181207	10.0	道路
寄神貝塚	五島市	42211	110	20180723 ~ 20180724	15.0	その他開発（小型風力発電設備）
原の辻遺跡	壱岐市	42210	424	20181101 ~ 20181228	500.0	保存目的
長貫B遺跡（隣接地）	島原市	42203	010	20190304 ~ 20190315	25.9	道路
寺中A遺跡	島原市	42203	011	20190304 ~ 20190315	43.7	道路
原口B遺跡	島原市	42203	003	20190304 ~ 20190315	18.2	道路
津吹遺跡（隣接地）	島原市	42203	019	20190304 ~ 20190315	81.4	道路

長崎県埋蔵文化財センター調査報告書 第33集

長崎県埋蔵文化財調査年報 27
[平成30年度調査分]

2019年6月28日

発行 長崎県教育委員会
長崎市尾上町3番1号

印刷 株式会社 昭和堂
諫早市長野町1007-2